



《ト蔵会長》

委員が共通認識を持つことで、指導や助言が可能になると思いますので、機会があれば集まって勉強したいと思います。

《足原委員》

私は幼児教育に携わっていますが、そのことが資料（第3次米子市総合計画のうち、社会教育の部分を抜粋したもの）に含まれていないのは残念に思います。

《事務局》

家庭教育は、社会教育法でも、社会教育の範囲のなかで扱われるべきものとあります。第3次米子市総合計画では、本日の資料には含んでいませんが、別の章の中にその充実について記述があります。

また、組織機構改正によって今年度4月から家庭教育に関する事業が他課に移管された、ということではありますが、例えば公民館講座や生涯学習課の事業で家庭教育は以前と変わらずひとつのテーマですので、今後扱うことはない、というものではありません。

《足原委員》

私は現在、タムタムスクール（今年3月まで生涯学習課の担当事業であった家庭教育支援事業）にスタッフとして参加していますが、そのなかで個別の支援が必要、と考える親子も見受けられます。

《事務局》

今、タムタムスクールは福祉保健部こども未来局という部署が担当していますが、家庭教育については、当課と現在の担当課で連携を図りながら今後も進めていきます。

《星野委員》

社会教育のなかに家庭教育、人権教育なども含まれています。社会教育という大きな視点から、親や家庭に働きかけることが、家庭教育支援に繋がることもありますから、単に現在の担当課がどこだから、というだけの事務の進め方、考え方ではうまく行かないのではないのでしょうか。

《今出委員》

公民館のホームページですが、費用や運用が大きな負担になっていないでしょうか。図書館などはSNSで情報提供も行っておられて、とても便利です。今、安く簡単に扱えるようになっていきますので、検討する価値はあると思います。

《内藤委員》

私は、この委員2期目ですが、委員の立ち位置が今もよく分からない、という気がします。米子市内にはスポーツ推進委員が75名います。それぞれ活動していますが、社会教育委員としての活動も同様、何が仕事なのか、その成果を見せる必要があると改めて思います。

《内田委員》

学校を主体として見ると、地域の方々や公民館に、本当に色々な面でサポートしていただいています。普段気付かない点で、社会教育的な活動に助けられていることに気付きます。

子ども達は色々なものを見たり、体験したりすることで育っていく。学校教育は学力の面を担当しますが、当然それだけが全てではありません。

小学校入学の時点から、一昔前では考えられないような困り感を持つ子ども、親が、現実にあります。保幼小連携も進んでいますが、願う訳ではないですけれども、課題解決のために社会教育の面から何かお手伝いいただければ、と思います。

《星野委員》

内田委員の話も含めたうえで、やはり縦割りの考え方では上手くいかない部分があります。お互いで協力しないと前に進めないような時代ではないでしょうか。

《實近委員》

私が活動している崎津地区では、多くの子ども達が公民館を拠点とする事業に参加してくれます。館職員ともお互い顔と名前が分かるほど親しくなります。このような取り組みを市内でもっと広めたいと思いますが、なかなか難しいですね。

また、一住民として公民館講座にも参加していますが、館職員とも顔見知りなので、新しいことをやってみただけ良かった、悪かった、という感想も聞くことができます。これらは社会教育委員としての活動、とは言えないかもしれませんが、もっと多くの市民が、公民館が頑張っている姿を目にすることができれば、と思います。

(※先日開催されたふれあい発表会PRパネルについての議論あり)

《小谷副会長》

自分は社会教育委員であることを意識して活動している、ということはほとんどないですけども、地域で子どもと一緒に活動したりすると、これが社会教育かな、と感じることはあります。これからも続けていければと思います。

《永見委員》

今日配られている、平成30年3月時点での米子市教育委員会予算資料には、31年度として以前の文化課や体育課のものも含まれていますが、組織機構改正によって実際は含まれていないと思います。それらの課の業務や予算はどのような扱いになっているのですか。教育委員会とは全く別のものということですか。

《事務局》

現在の文化振興課、スポーツ振興課の予算は、教育委員会の中には含まれていません。行政の面倒な部分ですが、セクションが異なるため、色々な点で依頼文を出したり、段取りを踏まないと動けない場面はあります。ただし、社会教育委員は今までと変わらず教育委員会に置かれるものですし、文化や体育行政には、社会教育的な面もありますので、今後も連携しながら進めていきます。

《永見委員》

公民館に関していえば、米子市の公民館は社会教育に関することだけを行っているわけではありません。日々多岐にわたる業務をこなしています。結局、社会教育は人づくりをしていかないと立ちいかないわけで、一つ一つの事業をパーツとして組み合わせることでそれが可能になるのかな、と思います。

《星野委員》

本日この場で出た意見は、議事録などで公開されるでしょうけれども、具体的に教育委員会へどのように反映されるのでしょうか。

《事務局》

生涯学習課の事業や予算に反映させますし、公民館に関しては、例えば館職員については月に1回事務連絡会という会を開いていますが、その場で意見を伝えることで、館の事業に間接的に反映させることができます。

《ト蔵会長》

資料に関して、自分が参加した大会の資料などをまとめたものを、皆さんにお配りしておきます。こちらも参考にしてください。

5 そ の 他  
特になし

6 閉 会